

特集:スプレー缶の出し方



穴をあける

この、一言につきるんです。

スプレー缶に使用されているガスは、可燃性のものが、ほとんどです。しかし、最新ののものについては不燃性のものが使用されつつあります。

なぜ、ガスを抜かないとダメなの…

それは、中間処理(破砕処理、圧縮処理)時に、こちらのガスが抜けだし、ちょっとした火花によって引火することが少なくないのです。破砕と圧縮という作業は大型の機械にて行っています。

事故のおこった場所や規模によって、違いますが、修理等に多大な時間と労力が発生し、費用もかかっています。そのことにより当然、作業も滞ります。以前に、人的な被害もつくば市クリーンセンター内で起きたこともありました。

どうぜん収集時の車両にも、このことは言えます。

ガスに限らず、ほかにも引火性をもったもの、「ガソリン、灯油、バッテリー、ライター…」などなど少量ですが混じってきてるのが現状です。

どうぞ、「たったひとつの缶だから」とはこれからも思わないでください。

もちろん、昔から、スプレー缶を適正に出して頂いてる方々が、実はほとんどです。

いままでのご協力に感謝し、これからも分別に対し、ご指導頂きたいと思います。

おかげさまで設立 30 年

株式会社ツイザキ

〒300-2641
つくば市今鹿島 3779

つくば市環境事業協同組合理事

電話番号
029-847-4489

Fax
029-847-9051

E-mail
eco.tsuizaki@gmail.com

HP
<http://tsuizaki.client.jp/>

ブログ
<http://tsuizaki.tsukuba.ch/>



はじめまして

いつもたいへんお世話になります。

今後、最新の廃棄物、リサイクル情報を皆様へお伝えしたいと思い、このようなニュースペーパーを継続的に発刊したいと思います。

現在、廃棄物処理業界は法律の改正、並びに地方自治体の環境方針等が数年前よりも、ますます変化が起きております。

たとえば身近なものとして家電リサイクル品(洗濯機、冷蔵庫、テレビジョン、エアコン、乾燥機)、

パソコン、これらはリサイクル法により各メーカーに再利用、リサイクルの義務が発生しております。つくば市クリーンセンターを窓口とした受け付けは現在はありません。

内容は、リサイクル料金が此処にメーカー側で設定されており、そちらを事前に郵便局等で支払い、同時にリサイクル券を受け取り、その券を商品に張り付け、メーカーへ送りつけるという流れになります。

しかし、一般的には、上記の家電品を皆様に処理するときに

は、家電品店等にて、買い替え時にリサイクル料金と、収集運搬費用を支払い、引き取って頂いていると思います。

現在、われわれの業界は、「資源循環型」という流れが一般廃棄物と産業廃棄物ともに発達し、日本全国にて持続性可能な社会の構築に向け邁進しております。

貴重な資源を次世代へと引き渡すために、われわれ株式会社ツイザキは、今後も皆様方のご協力、ご支援を頂きながら、お役に立つ情報をこちらにて発信できたらと考えてます。どうぞこれからもよろしくお願い致します。